

2016 年 4 月吉日

報道関係者各位

虎屋文庫機関誌『和菓子』23 号発行

2016 年 3 月発行(年 1 回発行)

B5 版／124 頁／1,000 円(税込) 送料実費

虎屋文庫は、和菓子をテーマとした展示、講演会の開催ほか、和菓子関連資料の収集、機関誌の発行などの活動を行っております。この度、機関誌『和菓子』23 号を発行いたしましたので概要をお知らせ申し上げます。

機関誌『和菓子』とは

和菓子に関連する事柄についての論文や史料翻刻を中心とした学術雑誌で、1年に1回、発行しております。毎号「菓子とまじない、占い」「江戸と菓子」「羊羹」など、菓子に関わる特集を設けています。

虎屋最古の菓子見本帳の紹介

カラー口絵にて、虎屋で所蔵している元禄 8 年(1695)の年紀がある 2 冊の菓子見本帳(現在の商品カタログに相当)の絵図を全点初公開します。四季の風物をうつし、古典文学に想を得た菓銘を持つ「上菓子」が作られるようになったのは、17 世紀後期の京都であるといわれており、両見本帳は、当時の菓子の姿を伝える貴重な史料です。2 冊は同時期に作られたものですが、内容には差異がみられ、解題にて比較検討を行いました。

巻頭言

○麗しの想い人

長谷川 權(俳人)

四季折々の和菓子にまつわる、ご自身による俳句の数々をご紹介します。

特集 一あめ

身近な存在でありながら、表記や種類がさまざまで、定義づけが難しいあめをテーマに掲げ、3 氏に異なる視点から論じていただきました。

○江戸の飴屋・飴売り

吉田 伸之(飯田市歴史研究所所長・東京大学名誉教授)

江戸市中の飴屋や飴売りについて考察をいただきました。絵巻「きだいしょうらん 熙代勝覧」に描かれた飴屋や飴売りを手がかりとして、町方に残された史料などをもとに、零細な小売りの販売者が表店おもてだなの間屋や仲買からあめを仕入れていたことや、飴売りが副業の一つとして存在していた事例などを明らかにされています。

○江戸時代の菓子製法書に見られる飴

八百 啓介(北九州市立大学文学部教授)

江戸時代の菓子製法書に見えるあめの製法と、ぶぜんこくら 豊前小倉(福岡県)の三官飴さんがんあめに関する論考です。古来作られてきた麦芽のあめ、江戸時代に広まった砂糖のあめについて、多数の史料を引用しながら論じられ、日本のあめが、中国・朝鮮・南蛮(ポルトガル・スペイン)といった外来文化を受容しながら変遷していったことを指摘されています。

○南蛮菓子アルヘイトウの語源考

荒尾 美代(昭和女子大学国際文化研究所 客員研究員・南蛮文化(菓子・料理)研究家)

砂糖を使ったあめの一種「アルヘイトウ」(有平糖)の語源を検証されました。「アルヘイトウ」は、ポルトガル・スペインから伝来した南蛮菓子の一つです。ポルトガルの砂糖菓子 alfêloa(アルフェロア)を語源とする通説に疑問を呈し、現在も同国の一部地域で作られている砂糖菓子 alfenim(アルフェニン)の可能性を論じられています。

和菓子研究

○日本郷土菓子図譜

山岸 吉郎(イルフ童画館館長)

童画家武井武雄^{たけい たけお}(1894～1983)が残した珠玉の画帳『日本郷土菓子図譜』(3巻)をご紹介します。

武井自ら全国から蒐集した郷土菓子が美しい彩色で描かれた芸術作品です。子供たちが大好きな菓子を集めることで、彼らの心を知り、童画に反映させることが目的だったといいますが、昭和10～30年代の郷土菓子の様相を伝える菓子史料としても非常に注目すべき内容となっています。

虎屋の御用記録の翻刻

18号より行ってきた、元禄7年(1694)「諸方御用之留」^{しよかたごようのどめ}(虎屋黒川家文書)の翻刻の最終回です。御所関係では、御能の際に賜った大量の菓子の御用が目を引きまします。また、水戸黄門^{とくがわみつくに}こと徳川光圀からの饅頭の注文をはじめ、公家や町方からの注文も見え、上菓子が広まった元禄期における虎屋の御用の多様性がうかがえます。

購入方法

●FAX・E-mailにてご注文ください。書店には流通しておりません。通信販売にて承ります(送料実費)。

バックナンバーも販売中 〈 価格 6号800円、19・22号1,000円、他は900円(いずれも税込) 〉

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 5号特集 和菓子原材料の現在 | ○14号特集 鎖国時代の異国人への饗応菓子 |
| ○6号特集 茶の湯と和菓子 | 15号特集 菓子道具 |
| 7号特集 歴史資料と和菓子 | 16号特集 武家社会と菓子 |
| 8号特集 外来食文化と和菓子 | 17号特集 江戸と菓子 |
| 9号特集 九州 | 18号特集 甘味料をめぐる |
| 10号特集 民俗と菓子 | 19号特集 菓子史料コレクションから見えるもの |
| 11号特集 菓子とまじない、占い | 20号特集 羊羹 |
| 12号特集 唐菓子 | 21号特集 贈答と菓子 |
| ○13号特集 笑いの世界と和菓子 | 22号特集 地域資料に見る菓子 |

※創刊号～4号は完売しました。○印の号は残部僅少となっております。

購読お申し込み・お問い合わせ先

〒107-0052 東京都港区赤坂4-9-9 赤坂MKビル2階

株式会社 虎屋 虎屋文庫

電話 03-3408-2402 FAX 03-3408-4561

<https://www.toraya-group.co.jp> E-mail bunko@toraya-group.co.jp